



来りて、主の山に登り、
我が神の家に入りて、
その変容の光栄を見ん…
来りて、光に由りて光を受け、
神°、挙げられて、
一体の三者を世々に歌わん。

——主の変容祭「リティヤのスティヒラ」



仙台正教会
教会だより

2020年
8月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四二〇

TEL(022)225-2744

FAX(022)241-3080

http://www.sendai-orthodox.jp

orthodox@hyper.ocn.ne.jp

変容祭とは、イイスス・ハリストスが三人の弟子を連れて山に登った時、その姿を光り輝やかせ、旧約時代のモイセイとイリヤが顕れ、神・父の声が聞こえたという出来事を記念する祭である。

ところで、聖書の中で「山」は、重要な意味をもつ。例えば山上の垂訓の山。山の上でハリストスは、重要な教えの数々を述べられた。山は、神の言葉、神の教えが伝えられる場所である。

そして、変容の山。正教会では、ハリストスの変容の光は、神の造られざる光であり、その光に、私たち人間もあずかることができる、と教える。山は、神の恩寵という光をいただく場所である。さらに、復活の山。ハリストスは、復活した後、ガリラヤの山で弟子たちに顕れた。山は、復活という恵みにあずかる場所である。

ちなみに、この「復活の山」も「変容の山」も「垂訓の山」も、伝統的に、みんな「タボル山」であったとされる。

「復活」や「変容」というのは、確かに神秘的で、この世で罪にまみれて生きている私たちにとっては、理解を超えているように思えるが、しかし、それらは単に超自然的な何か、ではなく、私たちが神のみ旨に従って生きること、そのもの、とすることができると言える。

ハリストスは、変容と復活と同じ山の上で、「心の貧しき者は幸いなり」「隣れみある者は幸いなり」「敵をも愛せ」と、神のみ旨が何かを教えたのである。

私たちが、このような山上の垂訓の教えを、つまり神の言葉を、心の底から学び取ること、それが、私たちの「変容」である。神を知らない自分から知る自分へ、神に従わない自分から従おうと意思する自分へ、死を闇だと感じていた自分から復活の光への入口だと信じる自分へ変容する「山」。それは私たちにとって「教会」である。金口イオアンは言う、「ハリストスが、山に登ったのは、真理の神秘を学ぶ者はすべて、教会という山に登るべきことを示すためである」。

私たちが、教会に参拝するということは、山登りに来ている、ということ。山に登って、神と出会い、神の言葉を学び、神に祈り、神の光を浴び、弟子たちのように復活のハリストスを伏し拝むのである。(D)

2020年度 通常全国公会 7月11日、12日



7月11日(土)、12日(日)、東京復活大聖堂教会において通常全国公会が開催された。今年は新型コロナウイルスの影響を受け、各教会からの代議員の出席が大幅に減となったが、神品教役者はほとんど全員集合することができた。

一日目は、宗務報告、宣教企画委員会、財務諮問委員会、諸規則検討委員会の報告と共に、教団としてニコライ堂に設置した納骨堂についての報告がなされた。そして、9月に予定されている自治50周年記念式典について発表がなされたが、当日の時点ではロシア総主教聖下来



日については未定であった。

二日目は、決算、予算について討議され、承認された。今年は人事異動の発令はなかったが、西日本の教会の神品不足のために年度途中の異動もありえるとのこと。

なお、九州地方を襲った豪雨の被害状況が管轄司祭のグリゴリイ水野神父から報告された。教会や司祭館は無事だったものの、信徒の自宅や経営する保育園に被害があり、教団として見舞金が支給されることとなった。



ご奉仕に感謝

しばらくお休みしていた聖堂清掃奉仕が、7月5日(日)に再開され、床



掃除、燭台みがきなどが行われた。奉仕者は約10人。マスクを着用し、密をなるべく避けながらの作業となった。

▶ 高橋嘉彦兄が、境内の雑草刈を行ってくださいました。



雨漏り工事

予ねてからの懸案であった会館の一部雨漏り対策として、二階の窓の二か所について劣化した窓枠コーキングの工事が行われた。また雨漏りで染みが広がっていた一階エレベーター前の天井の張替えも併せて行われた。



▲ 西側



▲ 北側



▲ 施工前

▼ 施工後



小池神父様宗務総局長に

今回の全国公会において、ダニイル府主教座下より長司祭マルコ小池佑幸神父様(一関管轄)が、日本ハリストス正教会教団の宗務総局長に任命され、正式に通達が出された。小池神父様は、東日本主教教区宗務局長を兼任される。

四郎丸きぼう園土地成聖

ルカ熊谷憲一兄が経営されている家庭福祉会「きぼう園」が太白区四郎丸に新たに施設を建設することとなり、7月15日(水)に土地成聖が執り行われた。



中新田正教会だより

信徒総会

中新田ハリストス正教会の信徒総会が、7月5日(日)、聖体礼儀と月例パニヒダの後、信徒会館において開催された。コロナ禍のおさまらない中であったが、

出席者は18人で、全員マスク着用で会に臨んだ。

配布された資料に基づき、報告事項が水口神父より述べられた。何よりも新聖堂建設と成聖式が行われたことは歴史的行事として記憶されるべき一大事業であった。また管轄司祭の交替、代表役員の変更、代式祈祷の開始、洗礼、婚配など、中新田正教会が新たな船出をしたこと



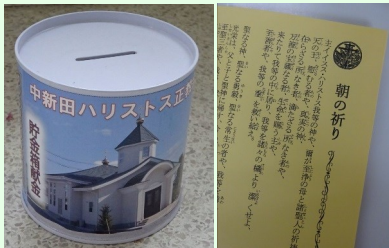
とが確認された。決算報告も滞りなく承認された。今後の活動については、定例奉事の他、水口神父より次の三つが提案され、承認された。①堂祭は、前駆授洗イオアン誕生祭とする(7月7日)。②建物の表題登記を行う。③教会を一般の方々にアピールする努力を行う(宣伝的宣教)。手始めとして教会パンフレットを専用ケースに入れて道路側に設置する。

予算は提示されたとおりに承認されたが、教会報の配布方法として直接手渡しではなく郵送する件数が多くなることが確認された

最後に、「貯金箱献金」による献金増加の提案がなされ、各信徒に協力くださるようお願いをすることになった。

貯金箱献金のお願い

毎日の祈りの時に感謝を込めて献金できるように専用の貯金箱と祈祷文を用意しました。子々孫々よく配布していただきます。教会が受け継がれたいという、献金をお願いいたします。



ローソクのリサイクル



中新田正教会では新型コロナウイルスの感染拡大の影響でしばらく代式祈祷をお休みしていたが、去る7月12日に再開し、祈祷後の集会・奉仕として、ローソクのリサイクル作業を行った。燃え残りのローソクを細かく砕いて、直接ランパードグラスに入れて(芯や留め具も再利用)火を灯す方法。8月9日の代式の日もこの作業をするのでぜひご参加を。

果物の成聖

中新田の次回の巡回は、8月22日(土)、23日(日)です。23日の聖体礼儀の最後で変容祭の習慣である「果物の成聖」を行います。各自、果物や野菜をご持参ください。(白河正教会では16日に行います)

変容祭と果物の成型

旧約時代

長司祭 ダヴィド 水口優明

地の産物である果物や野菜や穀物を神に捧げて祝福をいただく習慣は、旧約時代からありました。例えば、レビ記には「そのすべての実を聖なる物とし、それをさんびの供え物として主にささげなければならぬ。」(19:24)とあります。

特に捧げるべきものはその年に最初に収穫される所謂『初物』でした。「あなたは、土地の最上の初物をあなたの神、主の宮に携えて来なければならぬ」(出エジプト記 23:19)。

初代教会

初代教会にも地の初物を捧げる習慣は引き継がれました。2世紀頃のものと思われる『使徒規則』には「定期に於て初穂或は葡萄を献ずる」という言葉があります(第三条)。カルファゲン地方公会カノン(4世紀)には、教会に携えてくる初物に関する言及があります。

これらの献げ物は、すべての善き物を

いただいたことに対する神への感謝を表わしていました。

変容祭(8月19日)

今日のように変容祭の日に果物や野菜を教会に携えてきて成型する習慣が根付いたのは7世紀頃からだったとされています。それはもともとぶどうの実が主でした。エルサレムやギリシャなどでは、ちようどぶどうの初物が取れる時期だっ



たからです。現在では信徒は変容祭に、ぶどうだけでなく、その他のさまざまな果物や野菜を教会に持ってきます。

変容祭とは、タボル山においてハリストスが白くまぶしく光輝く御姿に変容したことを記憶する祭です。この変容した御姿は、ご自身の「復活」の予告であり、終末に与えられる私たちの復活(変容)の約束でもあります。私たちは今、

まだまだ花も咲かせていないような存在ですが、主の恩寵によってやがて神様に捧げられるべき初物、すなわち熟しておいしい果物に変容することができます。

終末

旧約の預言書であるアモス書に次のような言葉があります(8:2)。

主は言われた、「アモスよ、あなたは何を見るか」。わたしは「ひとかごの夏の果物」と答えた。すると主は、わたしに言われた、「わが民イスラエルの終りがきた。」

この中の「夏の果物」は、ヘブライ語で「カイーツ」といい、「終わり」は「ケーツ」と言います。つまり、語呂合わせによって「くだもの」と「終末」が関連づけられています。

アモス書の「終末」は、イスラエルの民が神の審判を受けるという恐ろしい預言でした。しかし、ハリストスを信じる私たちにとって「終末」は、審判であると同時に、変容の恵みをいただく時でもあります。果物のおいしさはその恵みの悦びを象徴しているのです。

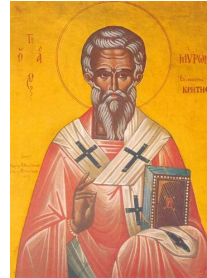
8月聖名日 モレーベンのご案内

8月2日(日)聖体礼儀後

8月の聖名日モレーベンに該当する方々の一覧です。



▲聖ノンナ



▲聖ミロン (クリトの)

聖名日	聖 名	氏 名 (敬称略)
8/2	聖預言者イリヤ	伊勢 薫、居川達彦、大槻智也
8/4	マリヤ (マグダリナの聖携香女)	遠藤千尋、伊藤万理亜、太田ちえ子 片上裕子、勝又淑子、加藤勢津、 木村富喜子、佐藤佑美、佐藤浩子、 内海えり子、高橋かつ子、 永元道子、鈴木三千代、鈴木テレサ 横山節子、及川聡子、古仲和香奈、 恩田恭子、後藤雅子、沼田芙美
8/6	ハリスティナ (ティルの聖致命女)	桜井愛莉紗
8/8	パラスケワ (ロマの聖致命女)	針生佐和子
8/14	ソロモニヤ (聖致命者マッカウエイの母)	権藤順子
8/16	ファウスト (コンスタンティノポリの克肖者)	山崎浩夫
8/18	ノンナ (神学者聖グリゴリイの母)	瀬沢ノンナ、平塚 望
8/21	ミロン (クリトの克肖者主教)	千葉 温
8/30	ミロン (キジクの聖致命者)	水口勇毅

献金報告 (2.6.24～2.7.21)

○聖堂内献金 三万三千七百七十円

○感謝献金 四万五千円 佐藤慶一

三万円 遊佐ひでよ、高橋勝郎

一万円 本多弘子、寺山ヴェロニカ、
中新田正教会、盛正教会

四千元 佐藤瑠都子

○聖名日感謝献金 三千元 永元亜紀子、古田直子、水

二千元 口敦子、
岡多喜子、渡辺久未子、笹

川純子、匿名

○会報献金

一万円 白河正教会、神田光子

五千元 小島紀二

○墓地祈禱感謝献金 三千元 櫻井英樹

○土地成聖感謝献金 三万円 家庭福祉会 (熊谷憲一)

○パニヒタ献金 一万円

木村富喜子、片倉 徹、清

五千元 水格・彩子、
遊佐なみ子、佐々木隆、高

三千元 橋清太

鈴木三千代、平塚清、笹川

皓、佐々木一志

木村史之、岡多喜子

西海枝康子、山中由美、古

田直子、匿名 ※敬称略

二千円

執事会報告

令和2年7月17日(金)

午後3時～5時 3階会議室

一、報告事項

6/21 信徒総会開催

6/28 新執事ナデジダ清水姉の紹介
教区会議

6/29 エレベーター点検

7/9 掃除機の無料メンテナンス

7/9 窓のコーキングと天井一部

張替え工事完了

7/11、12 全国公会

※コロナ禍の影響に対する特別交付金が教団より支給されることが決定。東日本主教区へは約七七〇万円。どのように各教会に給付するかは今後の課題。

7/14 県庁私学・公益課に役員名

簿や財産目録等の書類提出

二、協議事項

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策
仙台市内で感染者が継続して出ている

ことを受けて、痛悔、聖パン、マスク、消毒等の対策は緩和せず、現状のまま保持。

(2) エレベーター

劣化しているワイヤーロープ等の取り換えについて、複数の見積もり案を検討した。その結果、「ロープのみ取り換え」(税抜き49万円)で工事を発注する。

(3) 一階事務所のパソコンについて

サポートが終了した Windows7を10に取り換えるにあたって、業者より複数の見積もり案が出されたので検討した結果、セキュリティ対策契約(悪質なウイルス対策のため)を結ぶこととし(月額10,500円)、Windows10(諸経費を含む)は無料で設置してもらうことになった。

(4) AED設置について

全国公会で、教団よりレンタル料8割負担の案内が出されたが、検討した結果、仙台教会としては設置は不要となった。

(5) PCB(蛍光灯)について

熊谷執事によると、令和5年3月ま

でに処分すればよいとの仙台市からの回答があった。来年度の課題とするが、いずれ実際にPCBが使用されているのか否かの確認が必要である。

三、その他

・境内のモミの木などの剪定を行う(増尾造園に発注)。

・三プロジェクト(「啓蒙・宣教」「財務」「設備環境」)の確認を行った。

四、8月の予定

大主教座下 東京8/8～16

2日(日) 聖名日モレーベン/定例執事会
9日(日) 月例パニヒダ/ミニ講話/婦人会・方舟会、

16日(日) 代式祈祷 【白河巡回】

23日(日) 聖堂清掃奉仕【中新田巡回】



▲ 生神女就寝祭のイコン

8月行事・奉事予定



1日(土) 主日徹夜祷 第7調 (17時)

2日(日) 第8主日聖体礼儀 (10時)

書札 コリンフ前1:10・18

福音 マトフェイ14:14・22

※ 聖名日モレーベン

定例執事会

8日(土) 主日徹夜祷 第8調 (17時)

9日(日) 第9主日聖体礼儀 (10時)

書札 コリンフ前3:9・17

福音 マトフェイ14:22・34

■ 月例パニヒダ

◇ ミニ講話 婦人会・方舟会

9日(日) 中新田正教会・代式祈祷 (10時)

15日(土) 徹夜祷はお休み (17時) 第1調

16日(日) 第10主日聖体礼儀 (10時) 30分

書札 コリンフ前4:9・16

福音 マトフェイ17:14・23

15日(土) 水口神父白河出張

16日(日) 18時 主日徹夜祷

16日(日) 10時 主日聖体礼儀／果物の成聖

※ 生神女就寝祭の斎 (14日～27日)

18日(火) 祭日徹夜祷 (17時)

19日(水) 主の変容祭聖体礼儀 (9時) 果物の成聖

22日(土) 主日徹夜祷 第2調 (17時)

23日(日) 第11主日聖体礼儀 (10時)

書札 コリンフ前9:2・12

福音 マトフェイ18:23・35

◆ 聖堂清掃奉仕の日

22日(土) 水口神父中新田出張

22日(土) 16時 30分 勉強会／18時 晩祷

23日(日) 10時 主日聖体礼儀／果物の成聖／月例パニヒダ

27日(木) 祭日徹夜祷 (17時)

28日(金) 生神女就寝祭聖体礼儀 (9時)

29日(土) 主日徹夜祷 第3調 (17時)

30日(日) 第12主日聖体礼儀 (10時)

書札 コリンフ前15:1・11

福音 マトフェイ19:16・26



8月の集会は以下のように予定いたします。

【ミニ講話・婦人会・方舟会】9(日)

【聖堂清掃奉仕】23(日)

【教会学校】→お休みします

【聖歌練習】→お休みします

【伝道会】5(水)、12(水)、19(水)、26(水)

祈祷は予定どおり行われます。コロナ禍の未だ治まらない中、状況を見ながら十分お気をつけてご参拝下さい。

献金用郵便振替用紙の送付

仙台教会への献金のために使用できる郵便振替用紙を同封いたします。この赤い用紙は手数料が加入者負担ですので、献金する側は手数料は要りません。ぜひご活用ください。

ただし、住所とお名前の他に、通信欄には「定額献金として」「会報献金として」「感謝献金として」など、献金の種類を明記してくださるようお願いいたします。